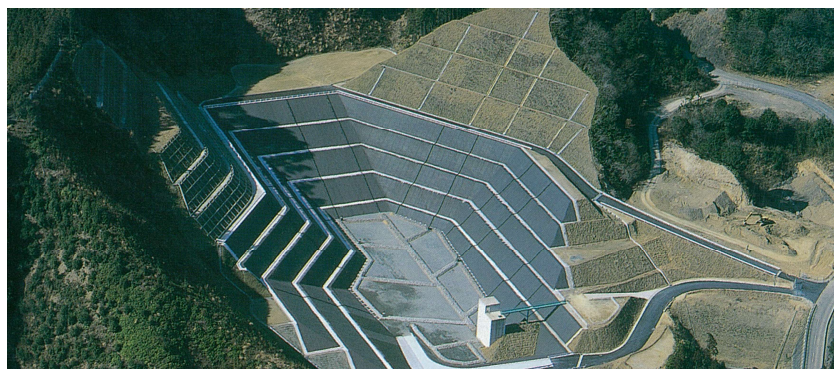


# 日向東臼杵広域連合 次期広域最終処分場 施設整備事業に係る説明会



# 説明会の流れ

1. ごあいさつ
2. 本日の説明会の目的
3. 最終処分場とは
4. 最終候補地決定までの経緯
5. 次期広域最終処分場基本構想
6. 排水計画
7. 事業スケジュール

# 1. ごあいさつ

「日向東臼杵広域連合」は、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村の5市町村にて構成する組織です。  
この日向東臼杵広域連合では、5市町村がそれぞれで行うよりも、共同で行った方がより効率的と考えられる3つの業務を行っています。

日向市  
門川町  
美郷町  
諸塚村  
椎葉村

負担金

職員の  
派遣

日向東臼杵広域連合

- ①一般廃棄物最終処分場
- ②火葬場(東郷霊苑)
- ③ごみ処理施設(清掃センター)



これらの設置、管理、運営に関する業務を行っています。

## 2. 本日の説明会の目的

- 日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村から集められたごみは、日向市にある清掃センターやリサイクルセンターで処理され、焼却灰やどうしてもリサイクル出来ないものは、日向市一般廃棄物最終処分場に埋め立てられていますが、満杯となる時期が迫っていることから、**次の最終処分場を整備**する必要があります。
- 本日は、これまでの経緯や整備を検討している施設のこと、今後のスケジュールについて説明します。

# 3. 最終処分場とは①

最終処分場は私たちの生活を守る大切な施設です

## 【埋め立てる物の発生】

各家庭から出されたごみは、清掃センターで燃やされたり、ひゅうがりサイクルセンターで細かく砕くような処理を行っています。その中で再利用できるものは可能な限りリサイクルしていますが、燃やした後の灰や細かく砕かれたガラスのようなものはどうしてもリサイクルできません。

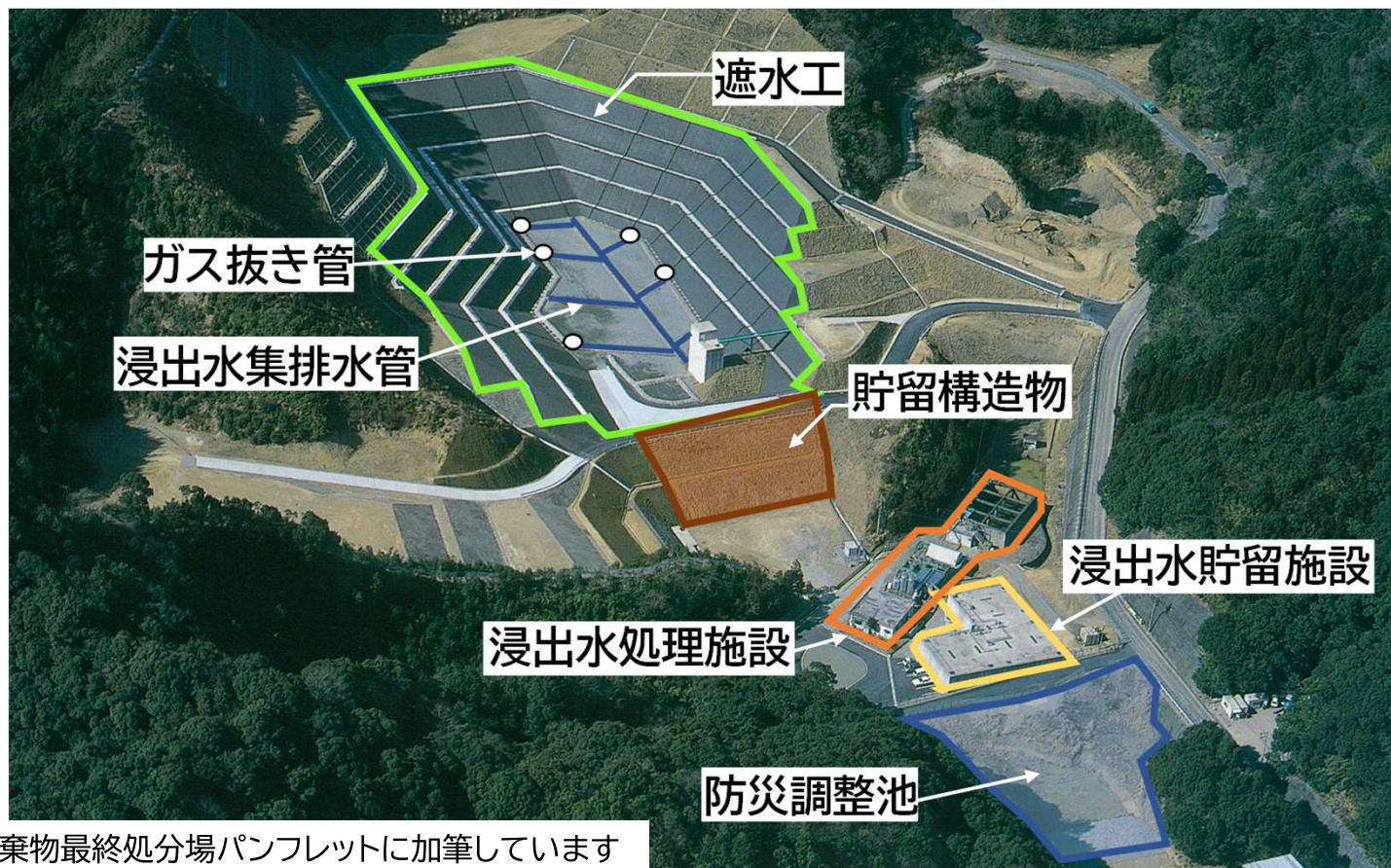
## 【埋立されているもの】

最終処分場には、灰やどうしてもリサイクルできなかったガラスや茶わん、土などを埋め立てています。今回計画している最終処分場は、家庭等から出たごみ（一般廃棄物）を埋め立てる一般廃棄物最終処分場ですので、事業活動で生じる産業廃棄物を持ち込むことは出来ません。

# 3. 最終処分場とは②

## 最終処分場の仕組み（オープン型の場合）

写真は日向市一般廃棄物最終処分場です。次期広域最終処分場においても、同じように国が定めた基準省令を守った施設を整備し、適切な運営を行います。

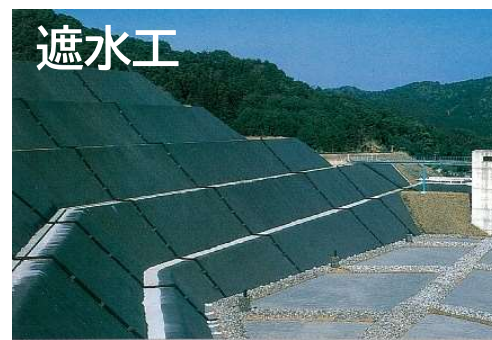


日向市一般廃棄物最終処分場パンフレットに加筆しています

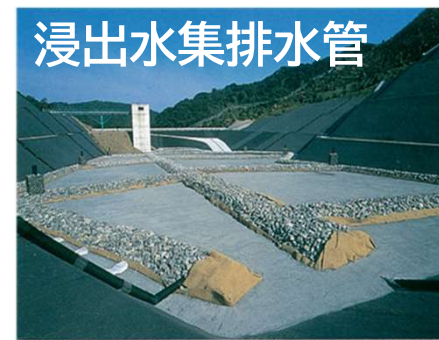
# 3. 最終処分場とは③



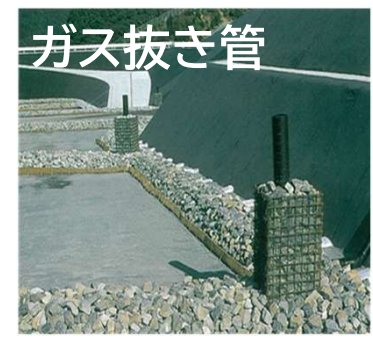
貯留構造物  
埋立物が崩れて流出しないように、土等で構造物を作ります。



遮水工  
埋立物の間を通った雨水(浸出水)が地下水へ流れ込まないように、シート等を敷設します。



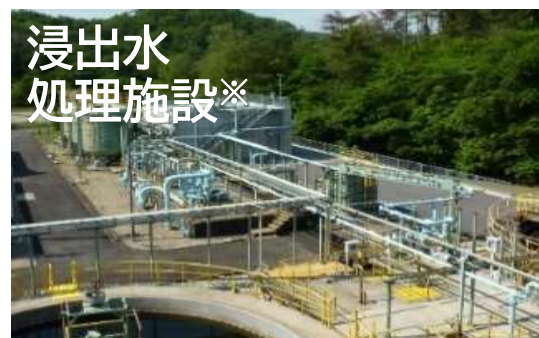
浸出水集排水管  
埋立物の間を通った雨水(浸出水)を速やかに集めて浸出水処理施設まで導水します。



ガス抜き管  
埋立物から発生するガスを速やかに大気中に放出する管です。



浸出水貯留施設※  
埋立物の間を通った雨水(浸出水)を一時的に貯留する施設です。



浸出水処理施設※  
埋立物の間を通った雨水(浸出水)を処理する施設です。



防災調整池※  
最終処分場の敷地内に降った雨を一時的に貯留するための調整池です。

※印の施設は、日向市最終処分場に設置されている施設とは異なる写真です。

## 4. 最終候補地決定までの経緯①

### 用地選定の前提条件

- ① 埋立容量5.7万m<sup>3</sup>以上、敷地面積3ha以上を確保できる用地を選定します
  - 実績値を用いて、ごみ排出原単位及び人口の予測から将来のごみ排出量の推計結果に基づき設定しました。
- ② 広域連合清掃センターから片道50kmを超える範囲は除きます
  - 廃棄物の円滑な運搬を行うことができる限度が50kmと想定しています。椎葉村全域と美郷町及び諸塚村の一部は広域連合から50km以上となり、選定の対象外としました。
- ③ 日向市は対象外とします
  - 広域連合構成市町村間の過去の協議において、次期広域最終処分場は現在最終処分場を設置している、日向市以外に建設することが決まっています。

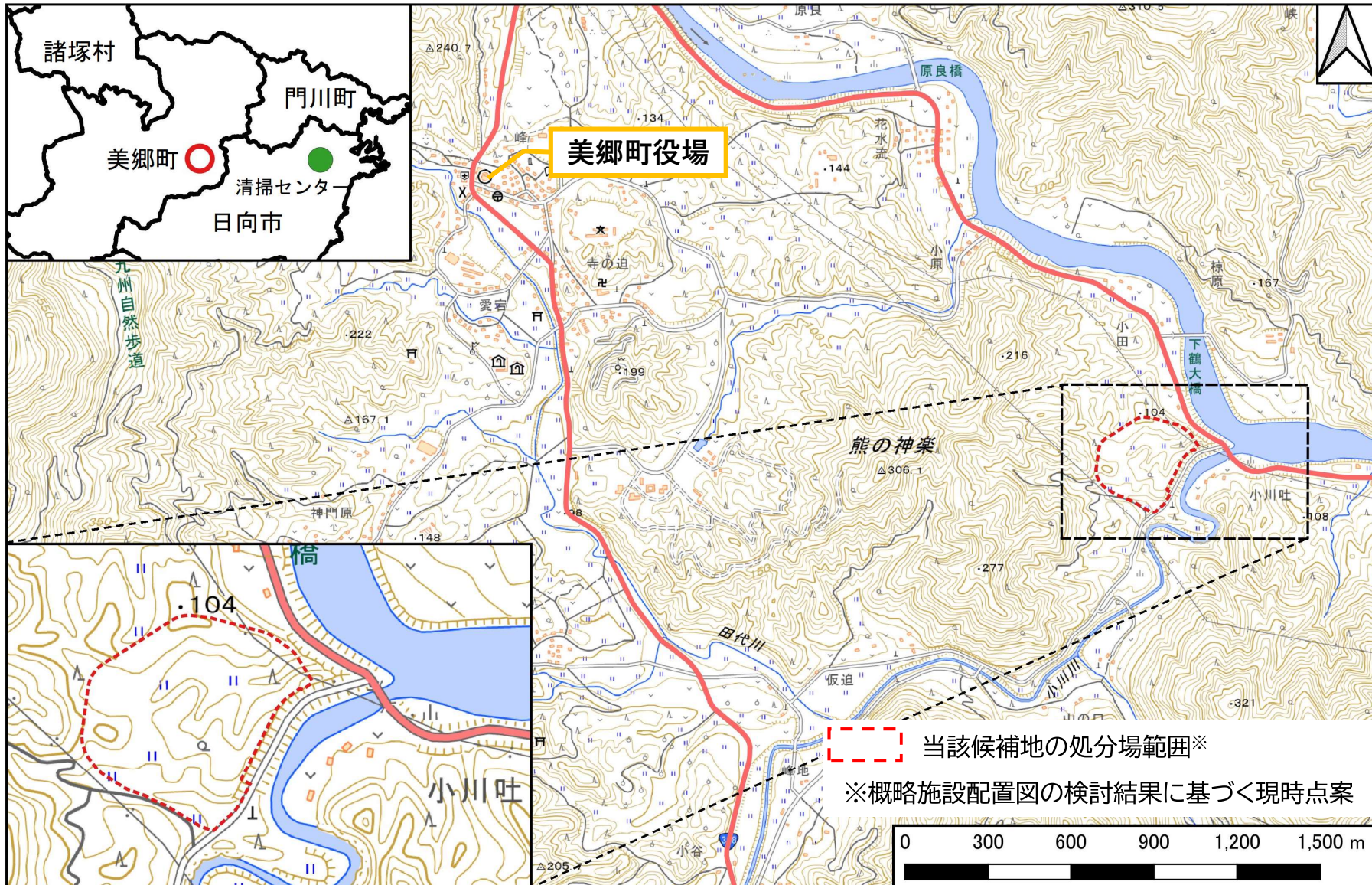


## 4. 最終候補地決定までの経緯②

- 用地選定は、学識経験者、環境団体、構成市町村住民代表、公募委員から構成している用地選定検討委員会にて会議や資料を公開・公表し透明性を確保しながら進めてきました。
- 委員会では、各評価項目に応じて一次候補地34か所、二次候補地12か所、三次候補地3か所と段階的に絞り込み、美郷町花水流区を最終候補地に選定しました。
- 検討結果を受けた正副広域連合長会議にて、最終候補地を決定しました。

# 4. 最終候補地決定までの経緯③

## ●最終候補地 美郷町花水流区



# 5. 次期広域最終処分場基本構想①

## 1. 基本構想とは

基本構想とは、建設候補地にて次期広域最終処分場を建設すると仮定した場合の施設整備のコンセプトや施設規模、今後のスケジュール等を取りまとめたものです。

## 2. 施設整備のコンセプト

次期広域最終処分場の施設整備のコンセプトを次のとおり定めました。

### ～未来を築く地域と共生した最終処分場～

テーマ1

災害や気候変動に対して強靱な構造を採用した「安全・安心」な施設とします。

テーマ2

施設内の緑化といった自然環境や生活環境など「環境に配慮」した施設とします。

テーマ3

地域に親しみをもって受け入れて頂けるように「地域との融和」を考慮した施設とします。

# 5. 次期広域最終処分場基本構想②

## 3. 埋立計画

埋立は、現在使用している日向市一般廃棄物最終処分場の埋立完了後から行います。埋立期間は、国が定めた指針の埋立期間の目安に基づき15年間とします。

埋立開始時期：令和13年度予定(日向市の最終処分場埋立完了後)  
埋立期間：15年間

## 4. 維持管理

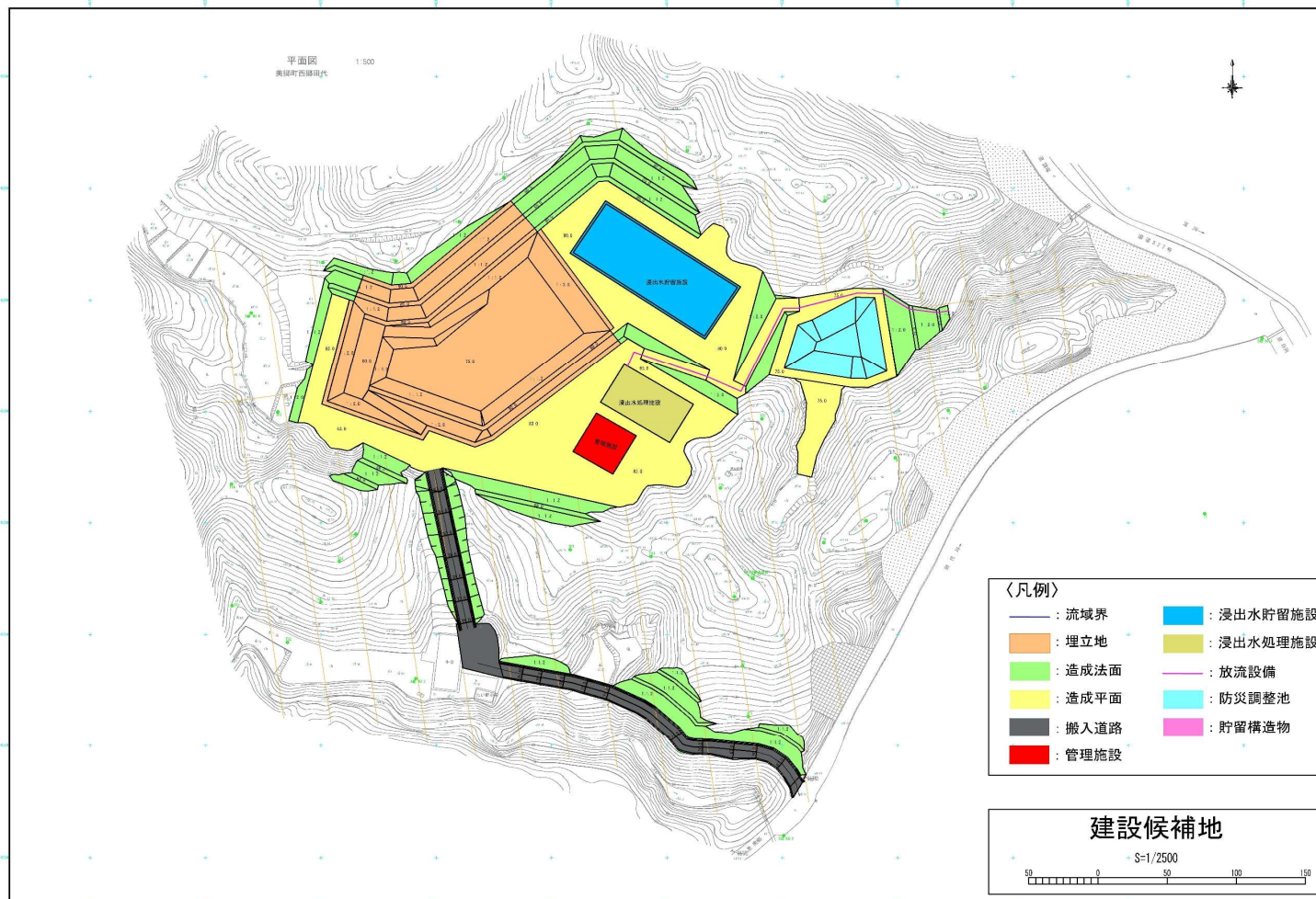
周辺的环境に影響を及ぼさないように適切な維持管理を行ってまいります。具体的には次のような取り組みを実施します。

- 廃棄物の飛散や悪臭防止のために埋め立てた廃棄物に土をかぶせます。
- 廃棄物中を通った雨水は浸出水処理施設で処理を行います。
- 定期的に地下水等の検査を実施し、結果を公開します。

# 5. 次期広域最終処分場基本構想③

## 5. 施設配置計画（オープン型の場合）

次期広域最終処分場は、57,100m<sup>3</sup>の埋立容量を持つ施設とします。施設配置計画は、測量・地質調査の結果を受けて見直していきます。

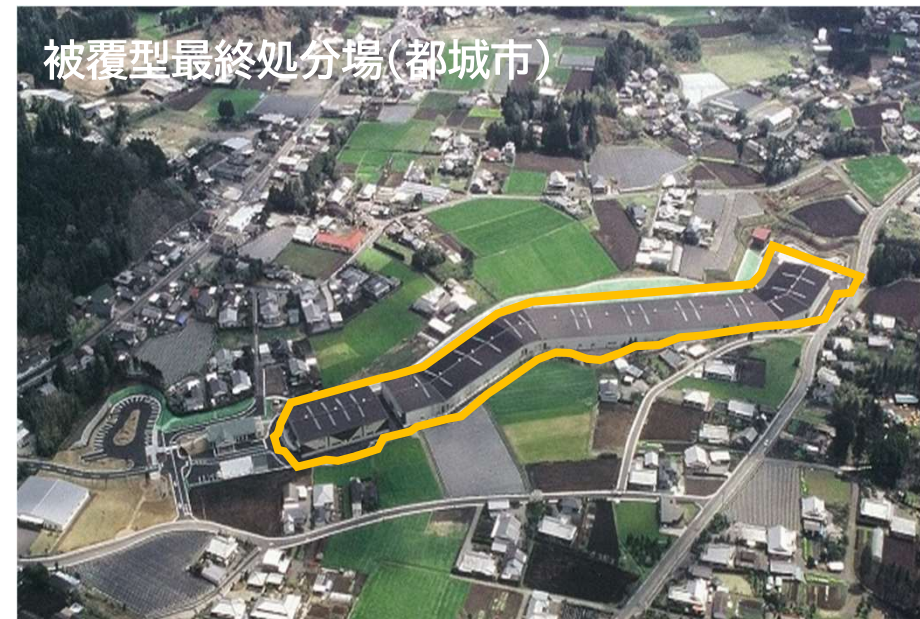


# 5. 次期広域最終処分場基本構想④

## 6. 最終処分形式

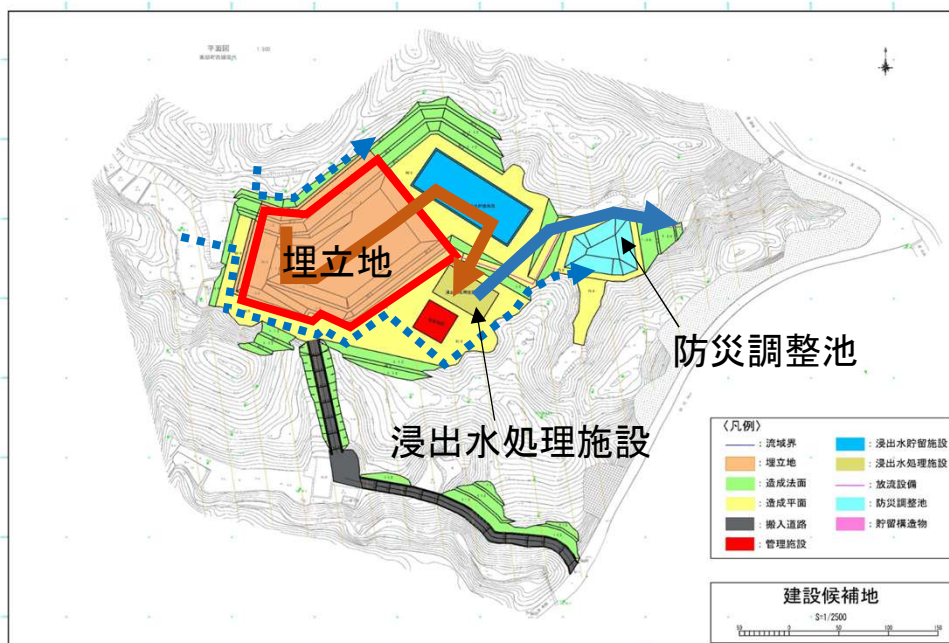
最終処分場の形式としては、従来からのオープン型最終処分場と、埋立地上部を屋根等の被覆施設で覆う被覆型最終処分場の2種類があります。

最終処分形式は、令和6年度に作成予定の基本計画で決定する計画です。

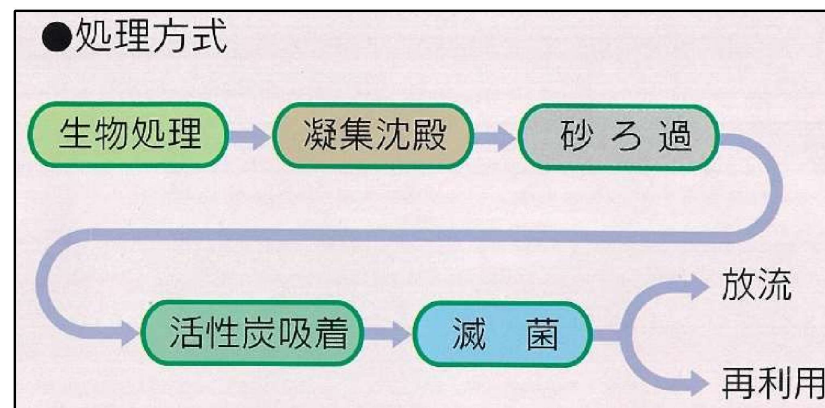


# 6. 排水計画①

- 雨水が埋立地内に流入しないように埋立地周辺に排水溝を設け、浸出水の発生量を最小限にします。
- 埋立地以外に降った雨は、耳川又は田代川に排水します。(水色点線矢印)
- 大雨の際は、一気に下流へ流れないように防災調整池に貯留します。
- 埋立地に降った雨は、浸出水処理施設において適正な処理を行った後、耳川に放流する計画です。(茶色、水色矢印)



日向市一般廃棄物最終処分場の水処理フロー

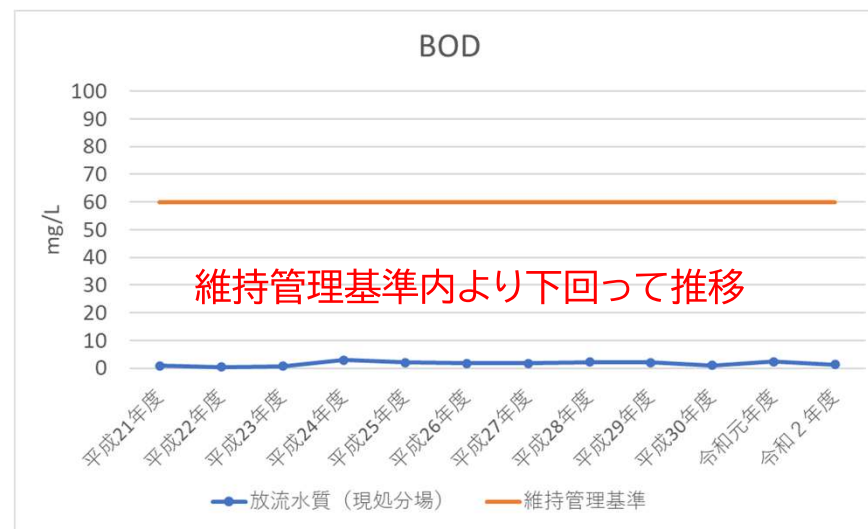
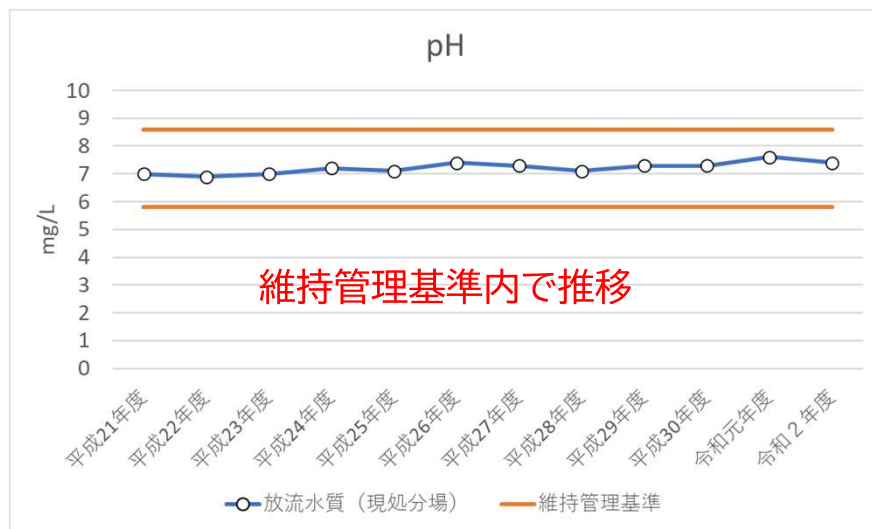


※施設配置は今後変更となる可能性があります。

# 6. 排水計画②

## ●最終処分場からの浸出水処理水

- 最終処分形式によって浸出水処理水の水量は異なりますが、おおよそオープン型で200m<sup>3</sup>/日、被覆型で25m<sup>3</sup>/日を想定しています。(数値は今後変更となる可能性があります)
- 現在使用している日向市一般廃棄物最終処分場の浸出水処理水の水質は維持管理基準を十分に下回っています。(代表的な水質2項目を示します)
- 次期広域最終処分場でも適切に浸出水の処理を行います。





# 6. 参考) 水質検査結果の比較

## 日向市最終処分場と河川の水質検査結果の比較

項目 (単位)	日向市最終処分場		耳川水系 (採水ポイント)					
	原水	放流水	花水流	耳川広域森林組合日向支所下	富高幹線用水路取水口	福瀬大橋	耳川大橋	立磐神社横
pH	7.7	7.6	7.4	7.6	7.6	7.5	7.5	7.7
BOD (mg/l)	12	2.6	1.1	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.6	0.5未満
SS (mg/l)	6	1未満	2	4	5.3	5	1	1未満
大腸菌群数	440	不検出	490	4300	2900	7500	3400	22000

BOD 水中の有機物などを分解する際に微生物が消費する酸素量から汚濁度を示す

SS 水中に浮遊している物質の量

大腸菌群数 放流水の単位は個/mg、河川の単位はMPN/100ml

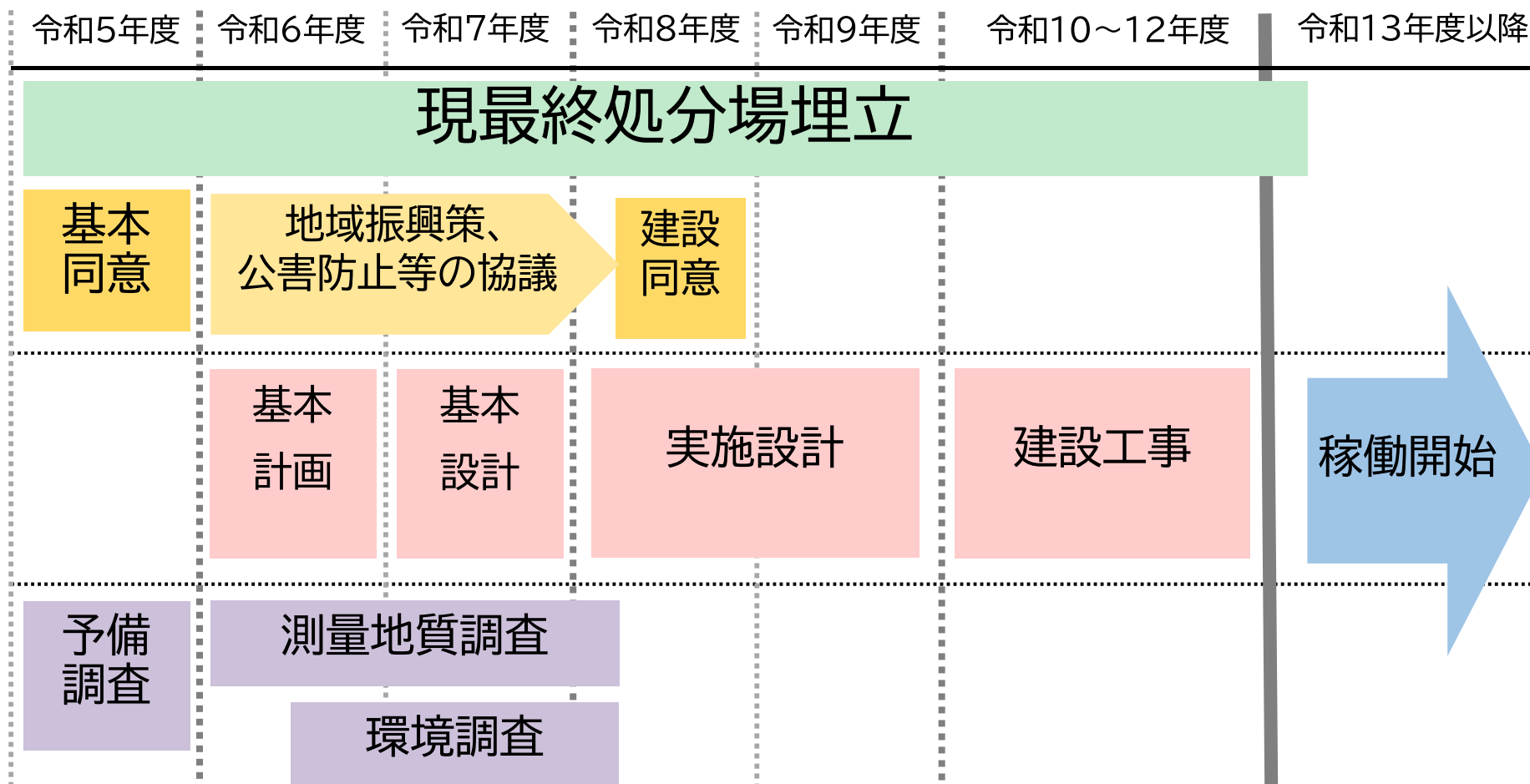
出典 日向市最終処分場：令和4年度日向市水質検査結果より

耳川水系：令和3年度日向市の環境事情報告書より

# 7. 事業スケジュール

令和13年度以降からの埋立開始に備えるため、段階的に計画設計、各種調査を計画しています。

(現時点でのスケジュールです。)



皆様のご理解をよろしくお願いいたします

問い合わせ先

日向東臼杵広域連合 業務第1係

電話：0982-53-3401

ファックス：0982-52-7889

日向東臼杵広域連合ホームページのお問い合わせフォームからも  
ご意見をお送りいただけます

アクセス方法 その①

携帯、スマートフォンから  
下のQRコードを読み取って  
アクセス



アクセス方法 その②

下記のURLを入力して  
アクセス

<http://hyuga-kouiki.jp/fmb.html>

上記お問い合わせページでは、これまでの委員会や住民説明会の資料、会議録も公表しています。ぜひご覧ください。